

Event Report

国際物流と貿易の未来を考える 「学生フォーラム」



【日時】 2025年2月25日（火）（於：横浜税関 本関）

【開催主体】 <主催団体>
財務省関税局、横浜税関、（一社）日本通関業連合会、横浜通関業会、
（公財）日本関税協会、輸出入・港湾関連情報処理センター（株）
<協力団体>
（一社）日本貿易会、日本機械輸出組合

【参加校】 亜細亜大学、学習院大学、神奈川大学、高崎経済大学、高千穂大学、
千葉大学、中央大学、東京国際大学、福島工業高等専門学校、明治大学

【参加者数】 <予選会参加者数>101名・23グループ
※予選会は書面審査
<本選参加者数>67名・17グループ
－ 本選発表チーム：42名・10グループ
－ その他の参加チーム：25名・7グループ

【審査員】 <審査員長>
長谷川 聡哲（中央大学 名誉教授）
<審査員>
岩田 伸人（青山学院大学 名誉教授、（公財）日本関税協会 理事）
蓬田 守弘（上智大学 教授）
岡藤 正策（一社）日本通関業連合会 会長）
平松 均（輸出入・港湾関連情報処理センター(株) 代表取締役社長）
山崎 翼（横浜税関 税関長）

国際物流と貿易の未来を考える 「学生フォーラム」

主催

財務省関税局
横浜税関
日本通関業連合会
横浜通関業会
日本関税協会
輸出入・港湾関連
情報処理センター

協力

日本貿易会
日本機械輸出組合

2025

2/25

08:45-
17:30

08:45

集合：横浜税関
神奈川県横浜市中区海岸通1-1
正門内 1階ロビー集合（下の案内図参照）

09:00

オリエンテーション（於：横浜税関7階大会議室）

09:20

横浜税関出発
バス移動

09:55

Aグループ
Bグループ
大型X線検査センター APMターミナルジャパン
大型X線検査センター APMターミナルジャパン

職場見学

バス移動

12:10

昼食、休憩（於：横浜税関7階大会議室）

13:00

主催者代表挨拶、審査員の紹介
各グループによる研究発表（12分間）
質疑応答（3分間）

16:10

本選で発表できなかったチームの研究
内容の紹介

野内図

16:30

関税局若手職員等との交流会
（同時に審査員による会議を実施）

17:15

結果発表、表彰、講評、
記念撮影

（18:00-19:30 懇親会）



本選参加チーム（発表順）

No	大学 学部	「グループ名」 リーダー・人数	席/バス/見学 グループ
1	福島工業高等専門学校 ビジネスコミュニケーション 学科	「メヒカリ」 丹野・7名	1/③/B-1
2	高崎経済大学 経済学部	梅島ゼミナール 涌井・6名	2/④/B-2
3	中央大学 経済学部	サターン 石井・4名	3/①/A-1
4	学習院大学 経済学部	むっくー班 笛木・3名	4/③/B-1
5	亜細亜大学 国際関係学部	久野ゼミ VU・6名	5/③/B-1
6	学習院大学 経済学部	東班 今村・3名	6/③/B-1
7	千葉大学 法政経済学部	伊藤ゼミ加藤班 加藤・5名	7/①/A-1
8	学習院大学 経済学部	山田班 山田・2名	8/③/B-1
9	神奈川大学 経済学部	風林火山 越前谷・2名	9/①/A-1
10	中央大学 経済学部	阿部ゼミ 目黒・4名	10/①/A-1

本選で発表できなかったチーム（※50音順）

11	宇治河大学 経済学部	西班	—
12	萬千穂大学 商学部・経営学部	グループジャパン	11/④/B-2
13	千葉大学 法政経済学部	伊藤ゼミB	12/①/A-1
14	中央大学 経済学部	阿部班三ゼミ FTA班	—
15	中央大学 経済学部	阿部班三ゼミ	—
16	中央大学 経済学部	ぶらぶらート	14/①/A-1
17	中央大学 経済学部	ぶらぶらート	13/①/A-1
18	中央大学 経済学部	ブチウラス	引率者席/./.
19	中央大学 経済学部	ブチウラス	引率者席/./.
20	東京国学院大学 経済学部	栄ゼミ	—
21	福島工業高等専門学校 ビジネスコミュニケーション 学科	からあげ10班	15/③/B-1
22	明治大学 経済学部	メイクアップ班	—
23	明治大学 経済学部	明治大学 明治ゼミ 1	—



中野博重の元からの収益・キャッチアップを助える持続可能な開発を目指して・

日本らしさを輸出する

中小企業への輸出

USMCA 施行によるアメリカ・メキシコ間の貿易と生産のシフトの分析

中国産プラスチック輸入税制の影響

日本企業間の輸出の現状、課題、展望

中国の生産と輸出の現状と輸入国に与える経済的影響

一置の貿易依存

新興国の輸出

デジタル貿易の発展

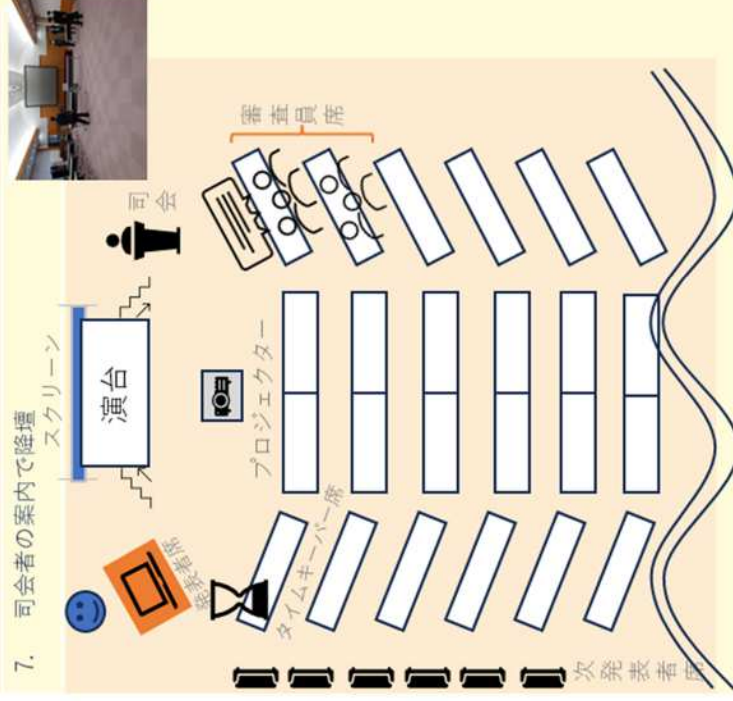
政府輸入の増進と輸入国に与える経済的影響

日本企業のアジア進出と貿易の発展

中野がやりたい世界

発表手順

1. 次発表者席で待機、直前のグループの質疑応答が終了した後に、発表者席に登壇（移動中、スタッフが資料を投影準備します）
2. 投影スライドをスタッフがスクリーンに投影
3. 司会者の案内で発表を開始（タイムキーパーが計測開始）
4. 発表者席に設置したPCを使って、発表者が投影スライドを操作（スライド送りのできるレーザーポインター有）
5. 発表開始から10分、11分、12分経過時にタイムキーパーが経過時間をプラカードで掲示
6. 発表終了後、審査員からの質問に回答（3分間）



発表方法

1. 会場が広いので発言時はマイクを使用ください。
2. 壇上に上がって動きながら説明することも可能です。
3. グループ内で相談しながら事前に役割分担（発表者、スライド操作、その他）を決め、発表時間内（12分間）での「伝え方」を工夫しましょう。

発表中の留意事項

スマートフォンやタブレット等の電子機器はマナーモードか電源を切って、音が鳴らないようにしてください。

途中、トイレなどで入退室する際は、可能な限り、発表グループの入れ替えのタイミングでお願いします。

他グループの妨害となる行為は行わないようお願いいたします。

自グループや他グループの発表中に、不測の事態が生じた場合は、遠慮なくお近くの事務局スタッフにお知らせください。

滅多にない機会ですので、これまでの研究成果を思う存分発表し、何よりも楽しんでください！！◎

午後（昼食後）の流れ



審査の対象

審査項目は「問題意識」、「調査力」、「分析力」、「発表力」、「将来性」となります。

発表時間が12分を超えた部分についても審査の対象となりますので、時間超過の場合でも発表を続けてください。なお、12分を超えた時間に応じて減点されますので注意してください。

質疑応答の内容についても審査の対象となります。

表彰内容（副賞）

最優秀賞



優秀賞



特別賞



※対象チームに表彰時に賞状とともにお渡しします。

当日の留意事項

服装の指定はございませんが、職場見学の性質上、動きやすい服装・靴でお越しください。

職場見学や研究発表時の写真撮影は当日の指示に従ってください。

事務局側で職場見学やフォーラムの内容については、記録用として写真撮影、ビデオ撮影を行います。

写真やビデオを対外的に使用する場合、写っている方を対象に事前に使用の可否についてお尋ねします。後日、事務局スタッフが撮影した写真を御提供いたします。

当日、マスコミによる取材がある可能性があります。

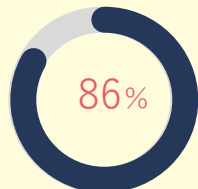
フォーラム終了後に、フォーラムの様子について、各学校やゼミのHPでご紹介いただくのは大歓迎です！👍



回答数
15名

アンケート結果 (集約版)

・学生フォーラムの評価



非常に有意義・有意義

・参加して…



80%

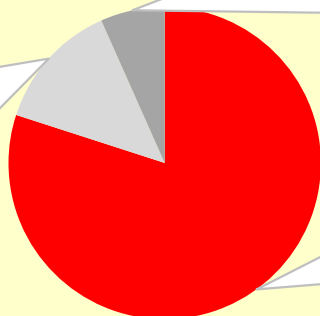
非常に良かった・良かった

学生フォーラムの開催意義

- ・ コンテナ検査を見て、税関が日本の流通に欠かせない存在だと実感した。研究発表を見て自分の今後の研究に役立った。
- ・ 通常の学生生活を送る中であまり税関に触れる機会がないので、改めてその意義を実感できたため。
- ・ 改めて国際物流や貿易を考えることで世界経済や政治などに目を向けるきっかけになるから。
- ・ 自分たちの研究が世の中において重要とされているテーマだと認識できるから。
- ・ 改めて貿易について問題意識を持つきっかけになる。
- ・ 国外に少しでも目を向けることになる機会になると思うため。

税関の認知度

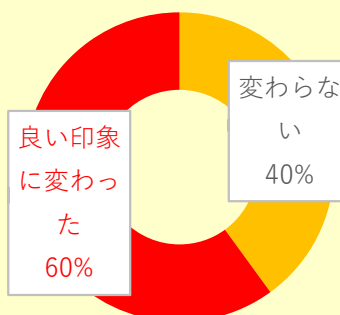
税関という
名前は聞いたことあ
ったが詳しく
は知らな
かった
13%



全く知らな
かった（学
生フォーラ
ムへの参加
をきっかけ
に知った）
7%

以前から
知っていた
80%

税関に対する印象の変化



学生フォーラムに参加して良かった点

- ・ 学生フォーラムに参加したことで税関の意義や貿易の実態について深い理解をすることができた。また、発表に向けてチーム全体で協力することでゼミの仲も深めることが出来た。
- ・ 今まで貿易というと為替や国同士の関係性にばかり目がいていたが、ECサイトの普及による弊害やさまざまな手続きに関わる方々の存在など新しい視点を得ることができた。また、高専生や1人で発表をしている方を見て、負けていられないと刺激になった。
- ・ 大勢の人の前で発表できた点、貿易のリアルなかたちを感じ取れた点。
- ・ 他のグループがどのような研究をしたのか、具体的に知ることができて、とても面白かったです。
- ・ 研究発表会がメインであることは間違いありませんが、最後の懇親会がとても有意義であったと思います。普段会えないであろういろいろな立場の方（財務省・税関・業界団体の幹部および他大学の先生・学生）と直接お話ができ、自分達の発表に関して（リップサービスもあるとは言え）お褒めの言葉もいただいたことは、自信となり、今後のポジティブな生き方につながるような気がしました。
- ・ 通関士の今後についての発表が印象に残っています。

次回に向けて出された意見

- ・ 最後の親睦会がより長い時間とる事ができますと幸いです…！
- ・ 懇親会などでもっと他の参加者と交流できるような企画があると嬉しいです！

AM
午前

職場見学：
横浜税関コンテナ検査センター、
APMターミナルズジャパン



PM
午後



各グループによる研究発表、 審査員との質疑応答



PM
午後

関税局・横浜税関・NACCSセンター との交流会（業務説明会） 特別保存室見学



PM
午後

結果発表、表彰、講評、記念撮影

★最優秀賞



高崎経済大学 経済学部

「梅島ゼミナール」

＜テーマ＞
デミニマス商業的利用による
制度破壊



◎優秀賞



学習院大学 経済学部

「山田班」

＜テーマ＞
二国間水素貿易の促進要因

◎優秀賞



中央大学 経済学部

「サターン」

＜テーマ＞
人権保護を目的とした政策が経済に
与える影響



PM
午後

結果発表、表彰、講評、記念撮影

○特別賞

学習院大学 経済学部

「東班」

国際海上コンテナ輸送費における安定化に向けて



敢闘賞

福島工業高等専門学校

ビジネスコミュニケーション学科

「メヒカリ」

原発事故に伴う福島県及び近県産水産物の輸入規制の緩和に向けて

～韓国－放射性核種事件を事例に～



敢闘賞

学習院大学 経済学部

「むっくー班」

半導体を活用した持続可能な発展に向けて



敢闘賞

亜細亜大学国際関係学部

「久野ゼミ」

少額輸入貨物制度を利用した激安ECサイトをめぐる課題



PM
午後

結果発表、表彰、講評

敢闘賞

千葉大学 法政経学部

「伊藤ゼミ加藤班」

<テーマ>

武力衝突が経済に及ぼす影響について



敢闘賞

神奈川大学経済学部

「風林火山」

<テーマ>

通関士の現状と今後の展望



敢闘賞

中央大学経済学部

「阿部ゼミ」

<テーマ>

日本酒産業と海外進出



講評



閉会挨拶

